

令和 7 年 9 月以降の審議を踏まえて今後の水系の検討に活かす視点（構成）

1. 河川整備基本方針の見直しの考え方

(流域治水に期待される役割)

- ・流域治水の 3 本柱のとの関係性等の整理) ⇒「考え方に関する資料」(追加、修正)…………… 3-5
- (隣接水系の特徴を踏まえた審議方針) ⇒「考え方に関する資料」(修正)…………… 7
- ・隣接する水系での降雨分布、流出形態、計画高水流量の検討事例 (久慈川、那珂川、物部川) …… 8-9

2. 基本高水のピーク流量の検討

- (基本高水のピーク流量の妥当性の検討) ⇒「考え方に関する資料」(既存資料再掲)…………… 11
- ・棄却の考え方(地域分布・時間分布)を説明した事例 (北上川)…………… 13-14
- ・棄却された実績引き伸ばし降雨の再検証方法を説明した事例 (北上川)…………… 15
- ・基準地点毎のピーク流量を決定する波形の降雨分布等を整理した事例 (北上川)…………… 16-17
- ・複数の基準地点で基本高水のピーク流量決定波形の降雨特性を分析した事例 (天塩川)…………… 18
- ・基本高水のピーク流量が大きくなる波形、伸びない波形を分析した事例 (赤川)…………… 19-24
- (実績降雨の分析方法)
- ・近年発生した前線性降雨の時空間分布等を分析した事例 (最上川)…………… 26-29
- (アンサンブル予測降雨波形の活用)
- ・クラスター分析の方法を解説した事例 (北上川)…………… 31
- ・クラスター分析において小流域の寄与率を示した事例 (最上川)…………… 32
- ・アンサンブル予測降雨波形を用いてピーク流量が大きくなる降雨波形を分析した事例 (最上川)…………… 33-36
- ・アンサンブル予測降雨を用いて支川流量及び降雨量の分析した事例 (天塩川)…………… 37
- ・ピーク流量が大きくなるアンサンブル予測降雨波形について台風経路や降雨分布等を分析した事例 (北上川、紀の川)…………… 38-42
- ((自然)遊水機能の効果を見込む場合の条件・考え方) ⇒「考え方に関する資料」(追加)…………… 44
- ・(自然)遊水機能を考慮して基本高水流量を設定した事例 (久慈川)…………… 45-46

3. 計画高水流量の検討

- (河道配分流量・洪水調節流量の設定の考え方の見える化)
- ・計画高水流量の見直しの考え方を示した事例 (土器川、北上川、天塩川、網走川、最上川) …… 48-57
- ・配分流量(案)とあわせて現行の整備水準を示した事例 (紀の川)…………… 58
- (計画高水流量(河道配分流量、洪水調節流量)の考え方)
- ・河川環境・河川利用への影響を踏まえた河道配分流量の設定の事例 (大分川)…………… 60
- (引堤や河道拡幅、遊水地等の整備の必要性・可能性の検討)
- ・本川の貯留施設による支川の水位低減効果を確認した事例 (最上川)…………… 62
- ・降雨特性の変化により貯留・遊水機能確保の必要性を確認した事例 (紀の川)…………… 63
- ・手戻りのない河川整備について説明した事例 (川内川)…………… 64
- (既存施設の有効活用(ダム的事前放流や再開発・放水路の拡幅等))
- ・事前放流がピーク流量の低減以外に発揮する効果に言及した事例 (川内川)…………… 66
- ・アンサンブル予測降雨の事前放流効果を確認した事例 (那珂川、赤川)…………… 67-68
- ・事前放流が放流能力に与える影響を説明した事例 (宮川)…………… 69
- (支川も含め流域全体で治水安全度を計画的に向上させていくための適切な流量配分)
- ・本川上流、支川の合流地点の流量の考え方を整理した事例 (北上川)…………… 71-72

4. 集水域・氾濫域における治水対策の検討

(歴史的治水施設等の効果・活用)

- ・霞堤(堤防開口部)の効果地形面から分析した事例 (大分川)…………… 74-75
- ・河川の蛇行箇所(小堤整備箇所)における貯留効果を分析した事例 (最上川)…………… 76
- (内水対策の考え方と効果)
- ・支川の氾濫、雨水(内水)による氾濫の防止に向けた国県市の取組事例 (天塩川)…………… 78
- ・防潮水門と排水機場による迎洪水位低下対策の事例 (宮川)…………… 79
- (農業分野との連携)
- ・事前の水位低下などため池の管理と活用に向けた支援の事例 (櫛田川)…………… 81-82

(土地利用や住まい方の工夫などまちづくりとの連携)	
・まちづくりと一体となった引堤事業の取組事例 (川内川)	84-85
・リスクの低いエリアへの誘導など被害対象を減少させるための取組事例 (天塩川)	86
(地域連携・住民連携)	
・ダムを活かした地域活性化の取組事例 (相模川、川内川)	88-89
・流域の魅力向上に繋がる取組や社会への情報発信の取組を整理した事例 (川内川)	90-91
(流域治水の推進体制)	
・地域と一体となった命と生業を守るための対策事例 (鳴瀬川)	93-94

5. 河川環境・河川利用についての検討

(良好な河川環境の保全・創出の考え方)	
・治水と環境の両立を目指した有識者との継続的な議論の体制構築の事例 (大分川)	96
・遊水地を整備する際の治水と河川環境や農業との両立について検討した事例 (網走川、那珂川、最上川)	97-99
・農業と連携した遊水地事業について分析した事例 (北上川)	100
・魚類の生活環境に配慮し、ダム地点において魚道施設を設置した事例 (天塩川)	101
・地域と連携しながら治水と環境、景観を両立した分水路を整備した事例 (川内川)	102-104
(グリーンインフラの主な種類と主な機能の対応) ⇒「考え方に関する資料」(追加)	106
・水系のグリーンインフラと多面的な機能の対応を整理した事例 (最上川、赤川)	107-108
(生態系ネットワークの分析及び生態系ネットワークとグリーンインフラの連携の考え方)	
・生態系ネットワークの類型化・分析を実施した事例 (土器川)	110
・動植物の個体数と生息場の面積の経年変化を分析した事例 (北上川)	111

6. 総合的な土砂管理の検討

(気候変動が土砂動態に及ぼす影響と総合土砂管理としての対策) ⇒「考え方に関する資料」(既存資料再掲)	113
・ダム下流へのダム堆積土砂の置き土等により土砂還元を図った事例 (櫛田川、相模川、紀の川)	114-117
・濁水対策等を含めた水系における総合的な土砂管理の取組をまとめた事例 (物部川)	118-119
(河道の維持管理対策)	
・土砂堆積、河床低下に対する取組事例 (川内川)	121

7. その他、水系の特徴に応じた検討事例 (水利用、水資源、海面上昇等)

(水系の特徴、近年災害を踏まえた河川整備)	
・水系の特徴、近年災害を踏まえて整備手順を検討した事例 (最上川)	123-125
(水系の特徴を踏まえた正常流量の設定)	
・独特な水利用、瀬切れの発生状況を踏まえて正常流量を設定した事例 (土器川)	127-131
(水系の特徴を踏まえた水利用の工夫)	
・複数ダムの総合運用による効率的な利水補給の事例 (相模川)	133
・融雪水を考慮したダム運用の高度化により水力発電を増強した事例 (北上川)	134
・複数ダムの連携による利水機能の強化を図っている事例 (紀の川)	135
・水道事業者の連携による「水道システム再構築」の取組の事例 (相模川)	136
(温暖化による水利用・水資源への影響の分析)	
・気候変動による水資源への影響、降雪への影響を分析した事例 (土器川)	138
・温暖化による海面上昇等を踏まえた湖沼の水質について分析した事例 (網走川)	139-141
(海岸保全基本計画の見直し等を踏まえた温暖化による海面上昇への対応)	
・海岸保全基本計画改訂と整合を図り、計画高水位の見直しについて検討した事例 (網走川)	143-146
・温暖化による海面上昇が防潮水門に与える影響を分析した事例 (宮川)	147

8. 基本方針の見直しにあたって考慮すべき流域の特徴の把握 (文化、歴史、産業、土地利用等)

(流域の文化・歴史、産業の把握)	
・流域の農文化、生物多様性を整理した事例 (鳴瀬川)	149-150
(土地利用の変遷、立地適正化計画におけるまちづくりの把握)	
・流域の地形の特徴を踏まえた土地利用について整理した事例 (紀の川)	152

9. 河川整備基本方針の本文の記載

(用語の使い方) ⇒「考え方に関する資料」(修正)	
・基本方針小委員会における保水・貯留・遊水機能の使い分け	154